

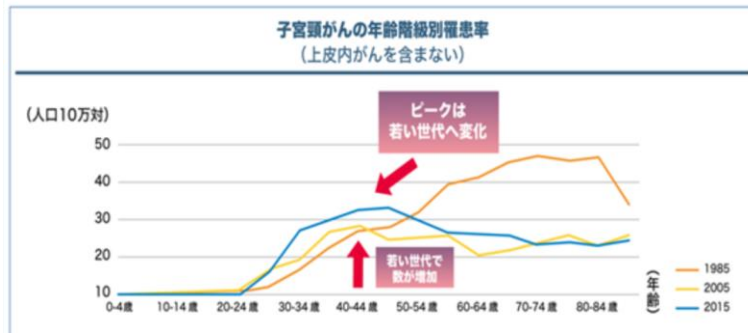
救えるはずの年間 3,000 人の命 子宮頸がんの撲滅に向けてできること

目次

- 1.日本における子宮頸がんの動向
- 2.子宮頸がんとはどうおこるのか？
- 3.子宮頸がんの予防方法
- 4.HPV ワクチンについて
- 5.HPV ワクチンを接種するには？

1. 日本における子宮頸がんの動向

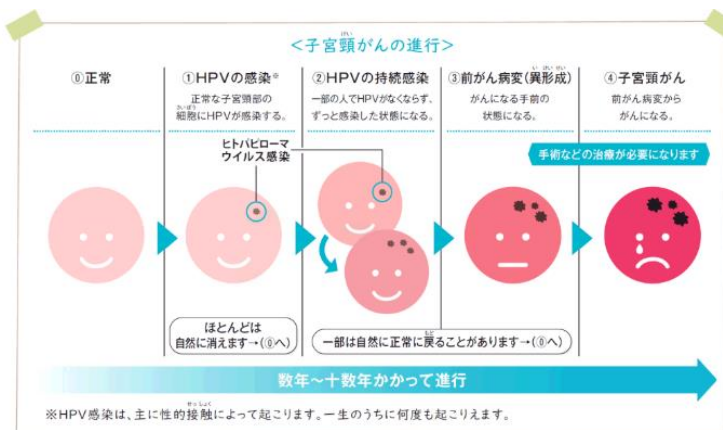
子宮頸がんは年間約 1 万人が罹患し、約 3,000 人が死亡しており、患者数・死亡者数とも近年漸増傾向にあります。特に、他の年齢層に比較して 50 歳未満の若い世代での罹患の増加が問題となっています。



日本産科婦人科学会「子宮頸がん と HPV ワクチンに関する最新の知識と正しい理解のために」

2. 子宮頸がんとはどうおこるのか？

- ▷ 子宮頸がんの 95% 以上は、**ヒトパピローマウイルス (HPV)** というウイルスの感染が原因です。
- ▷ HPV の感染経路は、性的接触。HPV はごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性のうち約 **80% は HPV に感染している** と推計されています。性交渉を経験する年頃になれば、男女を問わず、多くの人々が HPV に感染します。
- ▷ HPV に感染しても自然排出されますが、そのうち一部の方が高度前がん病変や子宮頸がんを発症します。



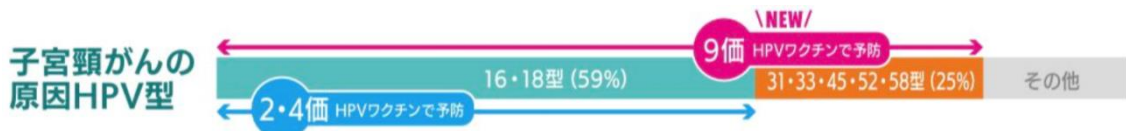
3.子宮頸がんの予防方法

一次予防	HPV ワクチン ⇒ HPV の感染を予防
二次予防	子宮頸がん検診 ⇒ がんになる過程の異常（異形成）やごく早期のがんを発見し、医師と相談しながら、経過観察や負担の少ない治療につなげる

HPV に感染した細胞の一部は、感染細胞が異常な形に変化して、前がん病変を発症します。軽い異常（軽度前がん病変）から高度前がん病変を経てがんへ進行します。前がん病変は、一般的に**症状が出現しないため、「子宮頸がん検診」で見つかります。しかし、がん検診を受診しないと、気づかれないまま、前がん病変から子宮頸がん（浸潤がん）に進行することがあります。**

4.HPV ワクチンについて

HPV ワクチンは、他のワクチンに比べて特に重い副反応を起こしやすいわけではなく厚生労働省や WHO も HPV ワクチンの安全性の担保をしています。HPV ワクチンには、いくつか種類がありましたが、2023 年 4 月より「**9 価 HPV ワクチン**」という新しいワクチンが日本でも**無料で摂取が可能**になりました。9 価ワクチンは、子宮頸がんの原因となる HPV 型の 9 割近くの感染を予防できます。



みんパビ公式リーフレットより

5. HPV ワクチンを接種するには？

HPV ワクチンは、**小学 6 年生から高校 1 年生の女子は定期接種（公費での接種）として無料で接種**できます。2013 年から 2021 年の間に子宮頸がんワクチンの勧奨を中止していた定期接種（公費での接種）の対象年齢を過ぎた女性は（誕生日が 1997 年 4 月 2 日～2007 年 4 月 1 日の方）、**キャッチアップ接種の対象者として 2022 年 4 月から 2025 年 3 月までの 3 年間は無料で接種**できます。

（公費接種対象のワクチン：2 価、4 価、9 価の HPV ワクチン）



みんパビ公式リーフレットより

参考文献：国立がん研究センター「最新がん統計」、日本産科婦人科学会「子宮頸がん HPV ワクチンに関する最新の知識と正しい理解のために」、厚生労働省「ヒトパピローウイルス（HPV）ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内～」、みんパピ「みんなで知ろう HPV プロジェクト」ホームページ